

第4期都城市地域福祉計画について、下記のとおり修正しました。

記

1 修正箇所

第2章「本市の現状と住民の声」

第1節「本市の状況」(1)人口の推移 19P 及び (2)高齢者関係①高齢者人口 20P

2 修正の内容

(1) 人口の推移について

人口の基礎データを住民基本台帳人口から現住人口（各年10月1日時点）に変更し、表記を統一しました。また、本市独自の取組の経緯についての記述を整理するとともに、将来人口推計のグラフについて、使用するデータを第3次都城市総合計画に基づく推計値に更新しました。

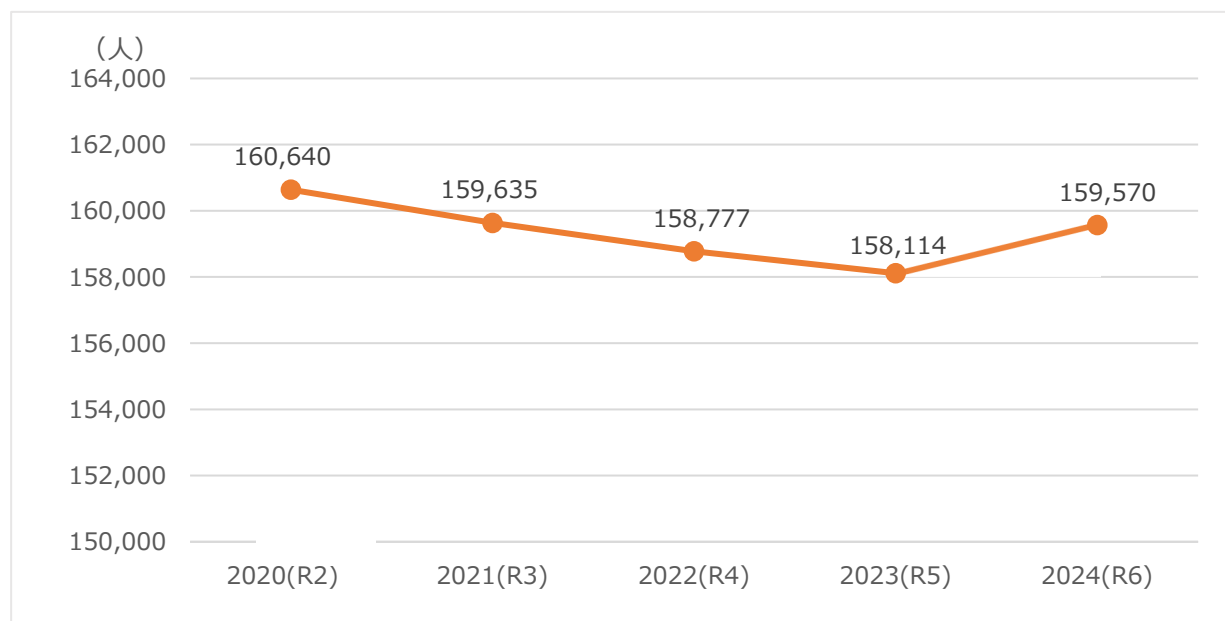
(2) 高齢者人口・高齢化率について

将来推計の出典を第3次都城市総合計画に基づく数値に変更しました。これに伴い、高齢者人口及び高齢化率の推計値が更新されています。旧データでは令和32（2050）年までの推計を掲載していましたが、新データでは令和25（2043）年までの推計に変更しています。また、高齢化率の見通しについても、旧データでは上昇傾向が続く見込みとしていましたが、新データではピーク後に減少に転じ、総人口の約3割で推移する見込みに修正しています。

(1) 人口の推移

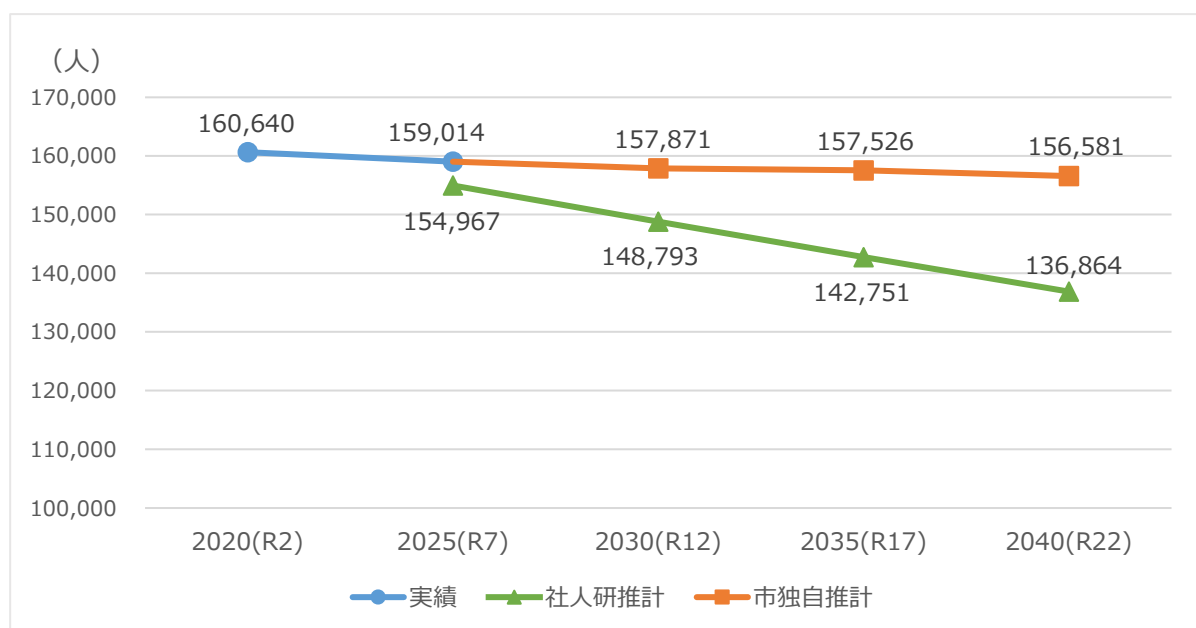
本市の総人口は、昭和 60（1985）年頃から減少に転じ、緩やかな人口減少が続いてきました。そのような中、本市は、地域経済の活性化と地域を支える人材の確保を図るための人口戦略を市の施策の中心に据えて取り組み、令和 6（2024）年には 13 年ぶりの人口増となりました。

◆都城市現住人口（各年 10 月 1 日時点）



出典：都城市現住人口（情報政策課）

◆都城市の将来人口推計（各年 10 月 1 日時点）



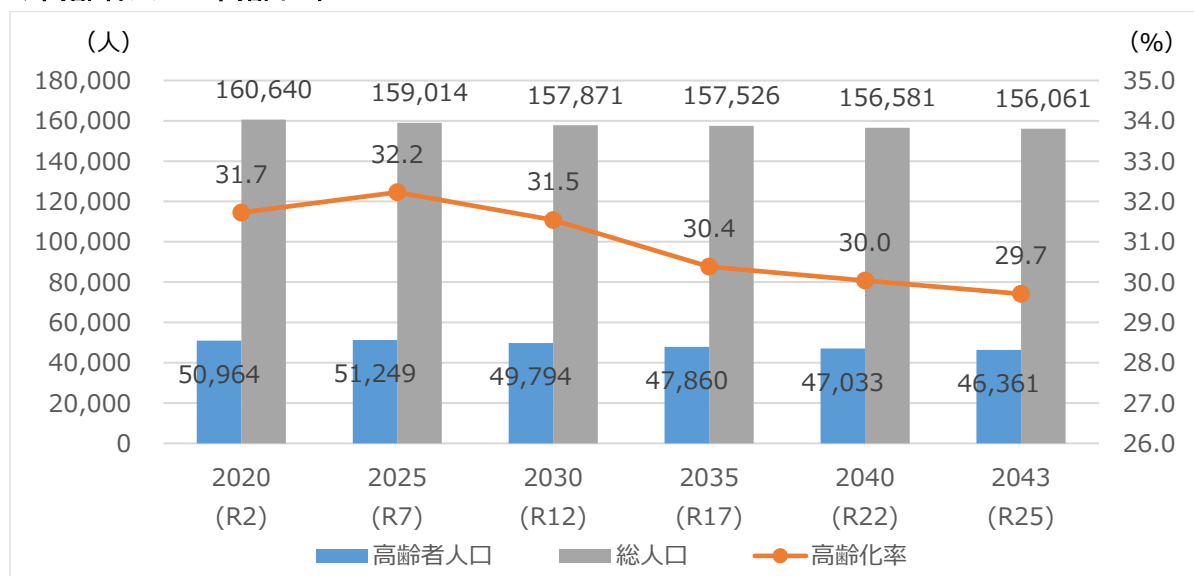
出典：都城市の将来人口推計（第3次都城市総合計画）

(2) 高齢者関係

① 高齢者人口

高齢者人口は、令和7（2025）年付近でピークを迎え、以降、減少していくことを見込んでおります。また、高齢化率についても、同様に減少に転じ、総人口の約3割を推移していくことが予想されます。

◆高齢者人口・高齢化率



出典：都城市の将来人口推計（第3次都城市総合計画）

② 高齢者世帯の状況

人口が減少する一方、高齢者のいる世帯は毎年増加しており、一般世帯に占める割合は令和2（2020）年には45.3%となっています。中でも、高齢者の一人暮らし世帯に増加傾向がみられ、全体（世帯総数）に占める割合は16.1%となっています。

◆都城市の世帯の推移

（単位：世帯）

項目/年	1990(H2)	1995(H7)	2000(H12)	2005(H17)	2010(H22)	2015(H27)	2020(R2)
世帯総数	59,318	63,951	65,468	67,939	69,683	69,767	70,860
	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
高齢者のいる世帯	18,901	22,458	25,430	27,651	28,626	30,654	32,103
	31.9%	35.1%	38.8%	40.7%	41.1%	43.9%	45.3%
一人暮らし世帯	4,776	6,042	7,265	8,639	9,165	10,267	11,440
	8.1%	9.4%	11.1%	12.7%	13.2%	14.7%	16.1%
夫婦のみ世帯	5,939	7,742	9,116	9,878	9,873	10,700	11,269
	10.0%	12.1%	13.9%	14.5%	14.2%	15.3%	15.9%
その他の世帯	8,186	8,674	9,049	9,134	9,588	9,687	9,394
	13.8%	13.6%	13.8%	13.4%	13.8%	13.9%	13.3%

出典：国勢調査